

大阪府河川整備審議会

第2回高潮専門部会

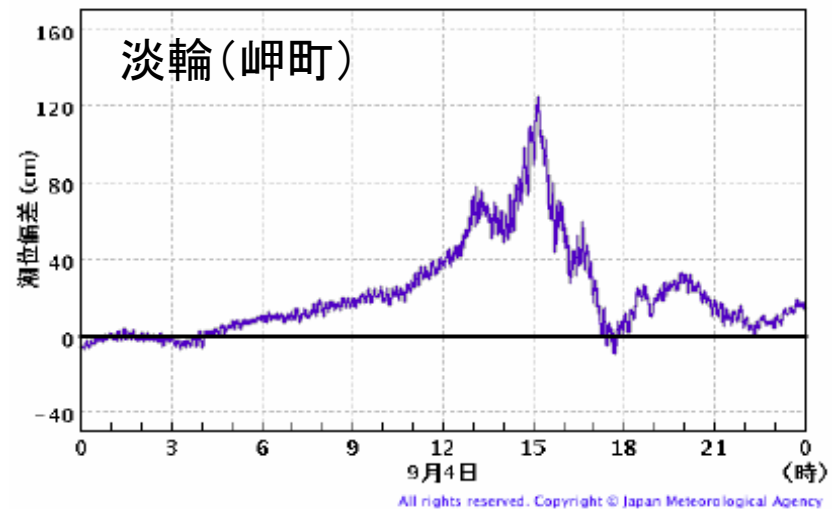
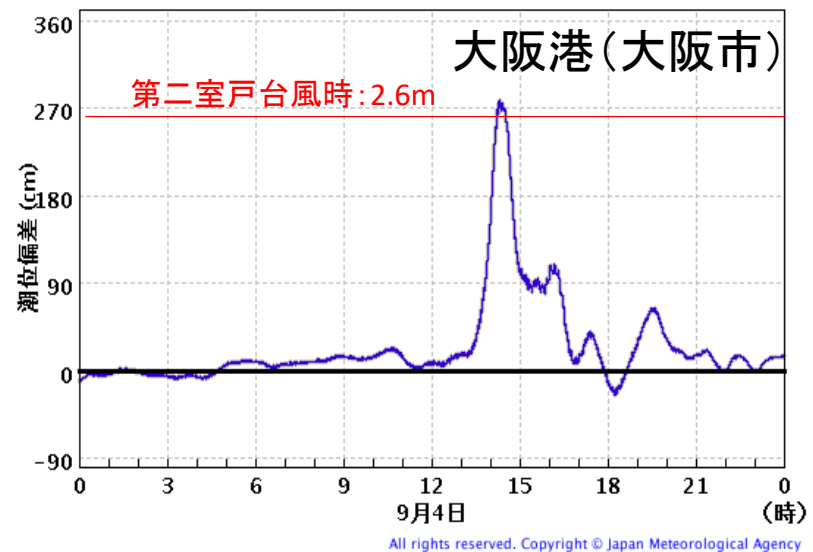
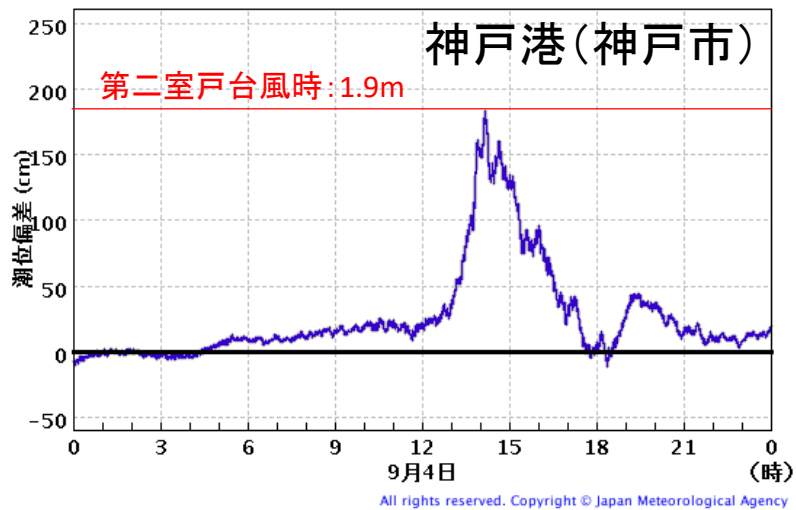
平成31年1月9日

大阪府 都市整備部 事業管理室

【参考①】平成30年台風21号 経路図



【参考①】平成30年台風21号による潮位偏差の観測値



【参考①】平成30年台風21号再現計算のシミュレーション条件

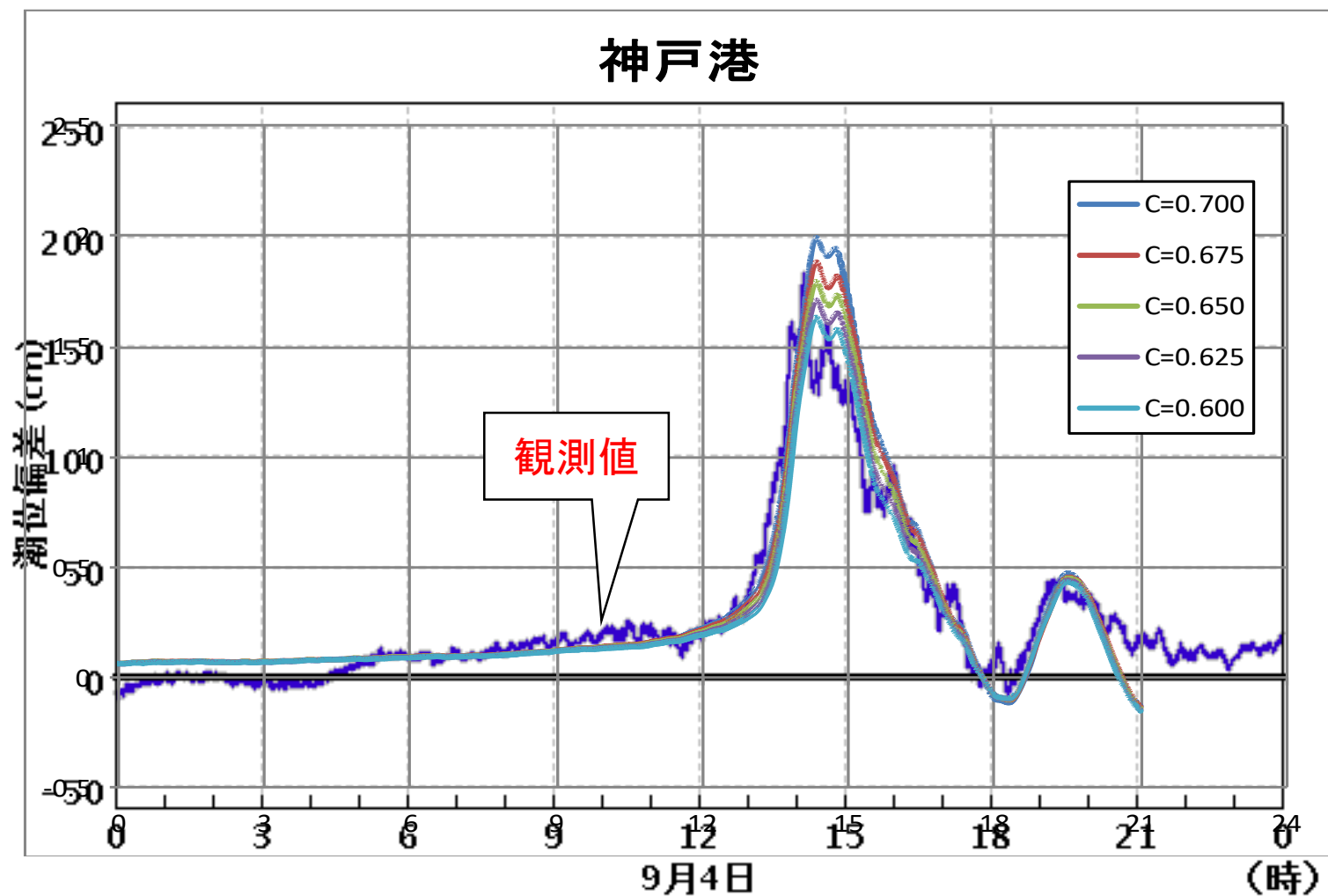
	項目	設定内容	備考
外力条件	台風中心気圧	平成30年台風21号実績	
	台風半径		最大強風半径35km
	台風移動速度		
	台風経路		
潮位偏差計算	高潮推算モデル	Myersによる台風モデル	
	風速変換係数C1、C2	C1=C2として、0.6～0.7まで0.025間隔で 5 ケース設定	
	風速上限値	45m/s	
	ウェーブセットアップ	考慮しない	
検証地点		神戸港、大阪港（天保山）、淡輪	

【参考①】再現計算のまとめと予測計算条件設定の方向性

	神戸港	大阪港	淡輪	採用案
第2室戸台風実績	1.90	2.60		
観測値	1.81	2.77	1.24	
C1,C2=0.7	1.99	3.38	1.33	
C1,C2=0.675	1.88	3.17	1.26	●
C1,C2=0.65	1.79	3.02	1.19	
C1,C2=0.625	1.71	2.88	1.13	
C1,C2=0.6	1.63	2.74	1.08	

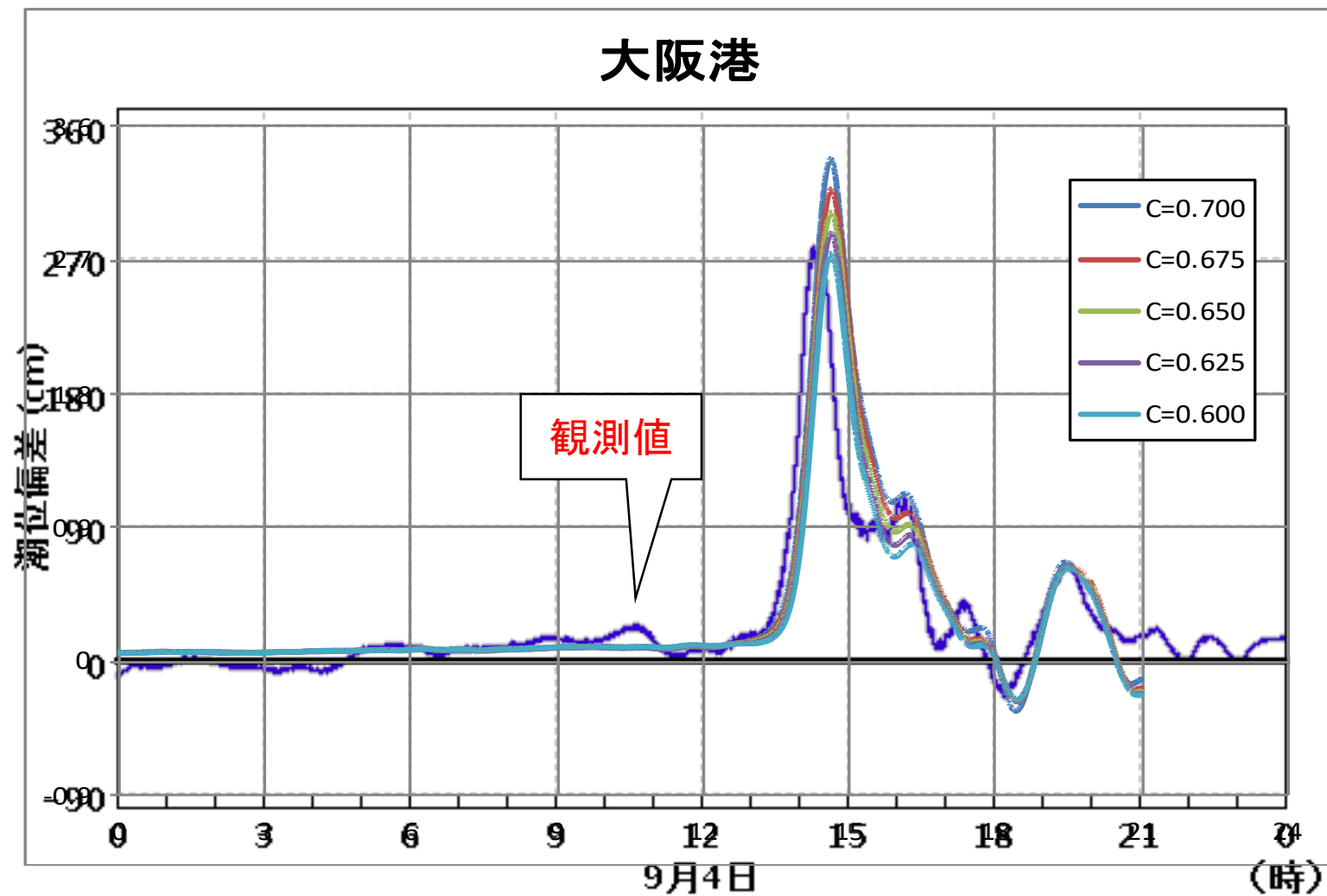
【再現計算まとめ】

- C1・C2を調整した結果、大阪港は0.625、淡輪は0.675が妥当な値となる
 - 最悪条件を考えると、大阪港が過大評価となるがC1・C2=0.675とするのが妥当

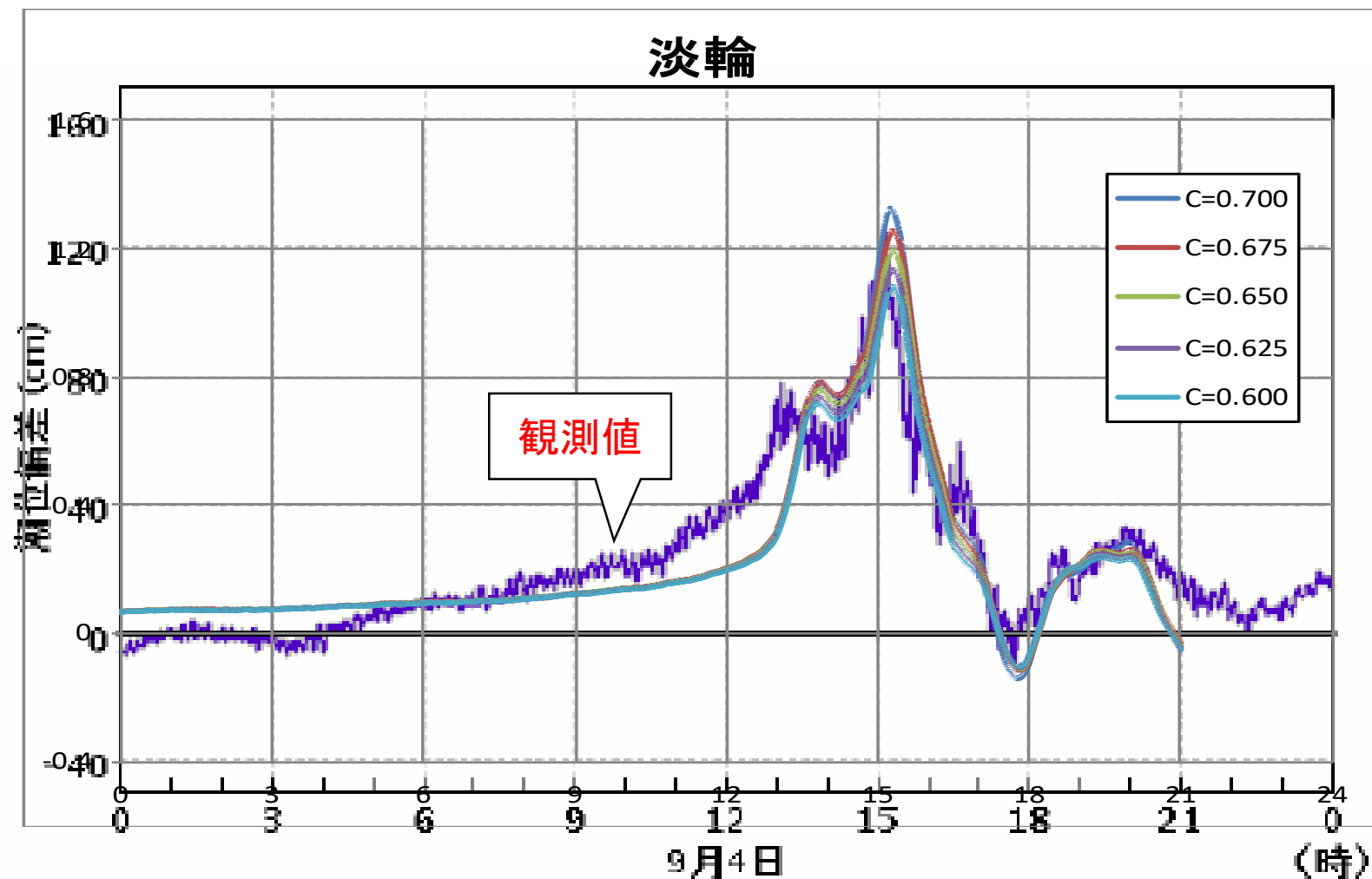


All rights reserved. Copyright © Japan Meteorological Agency

【参考①】潮位偏差波形の比較(大阪港)

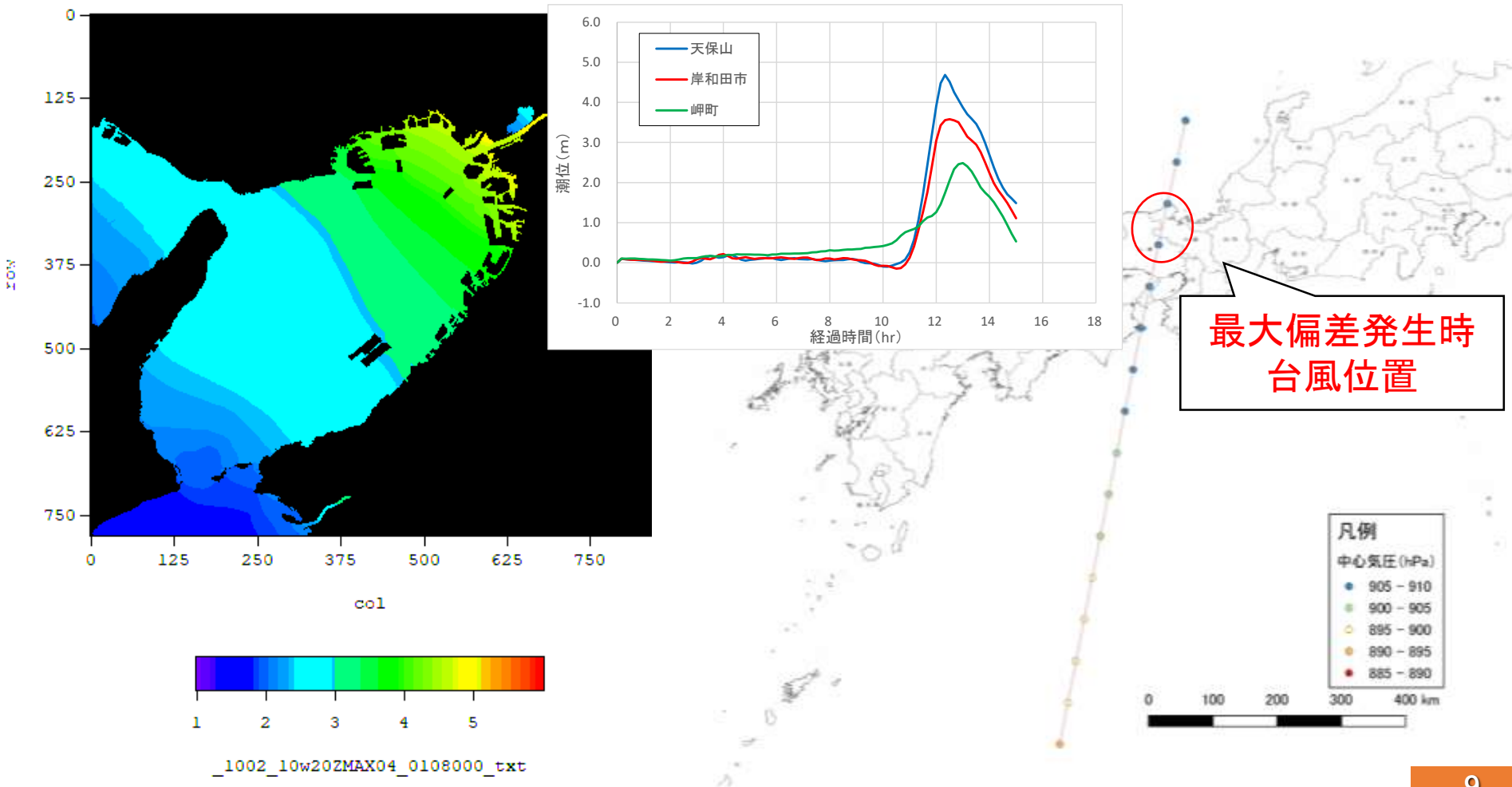


【参考①】潮位偏差波形の比較(淡輪)



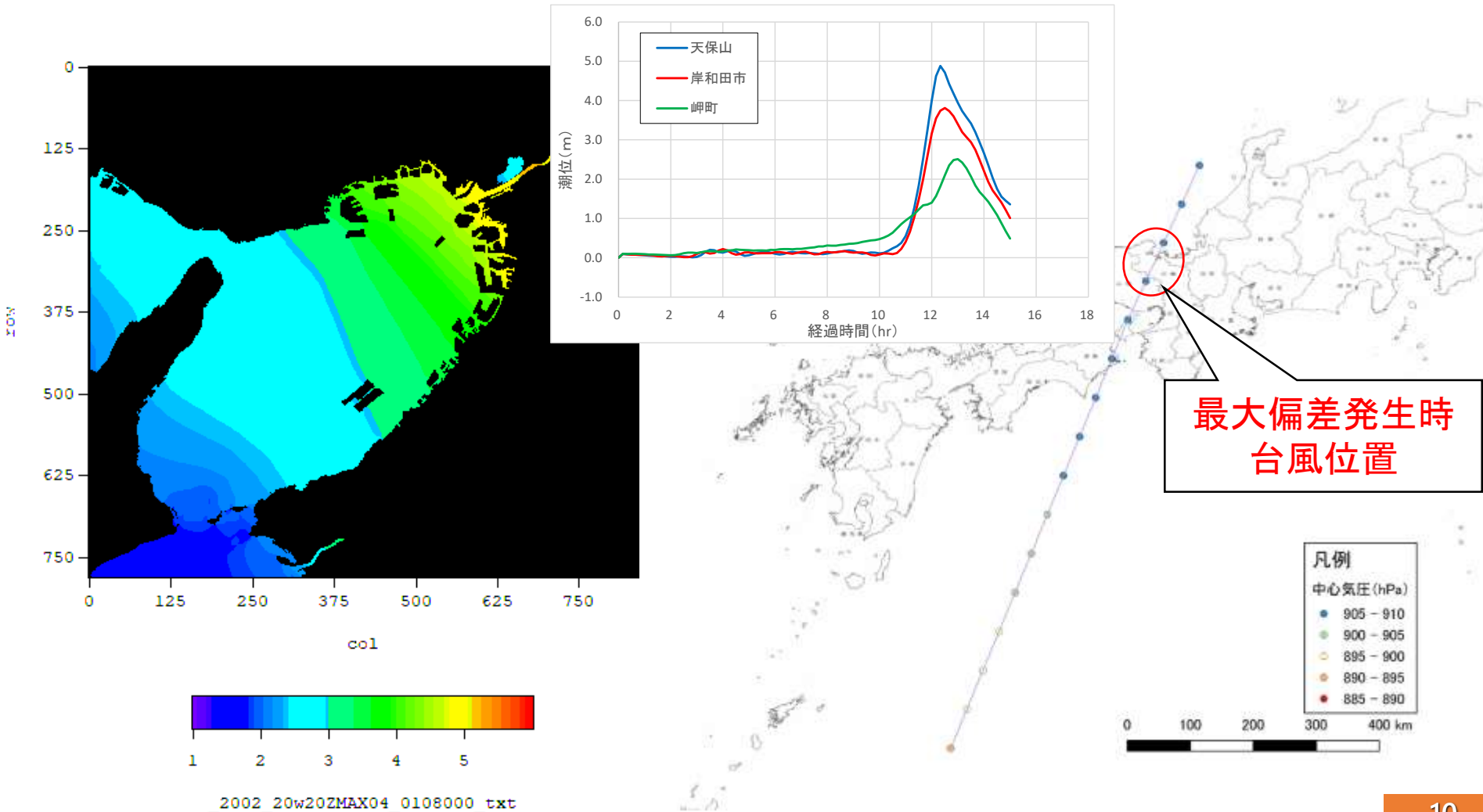
【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(10度経路)

- 10度経路で潮位偏差が最大となった西20kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 南側で先に潮位の上昇が始まる
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



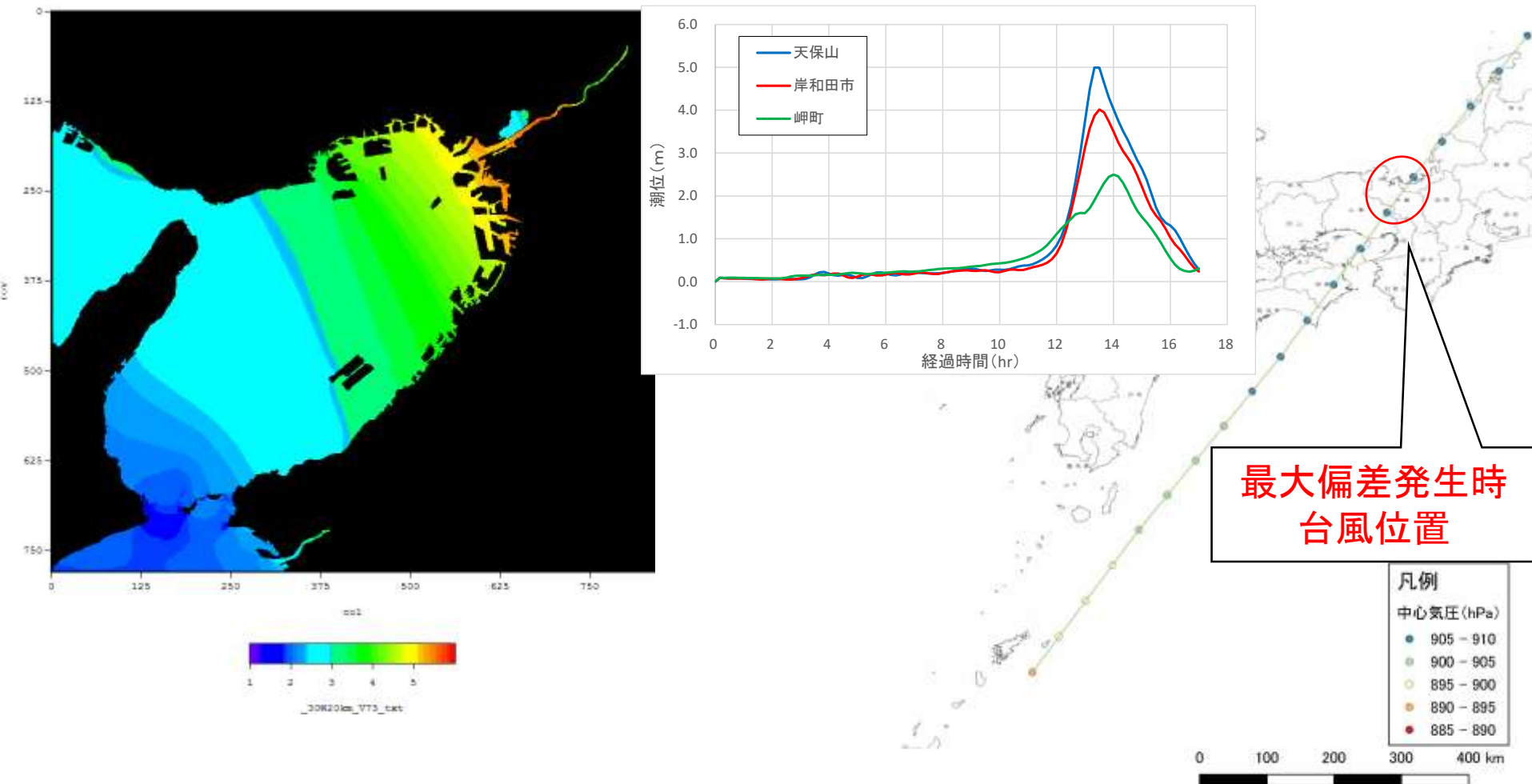
【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(20度経路)

- 20度経路で潮位偏差が最大となった西20kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 南側で先に潮位の上昇が始まる
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



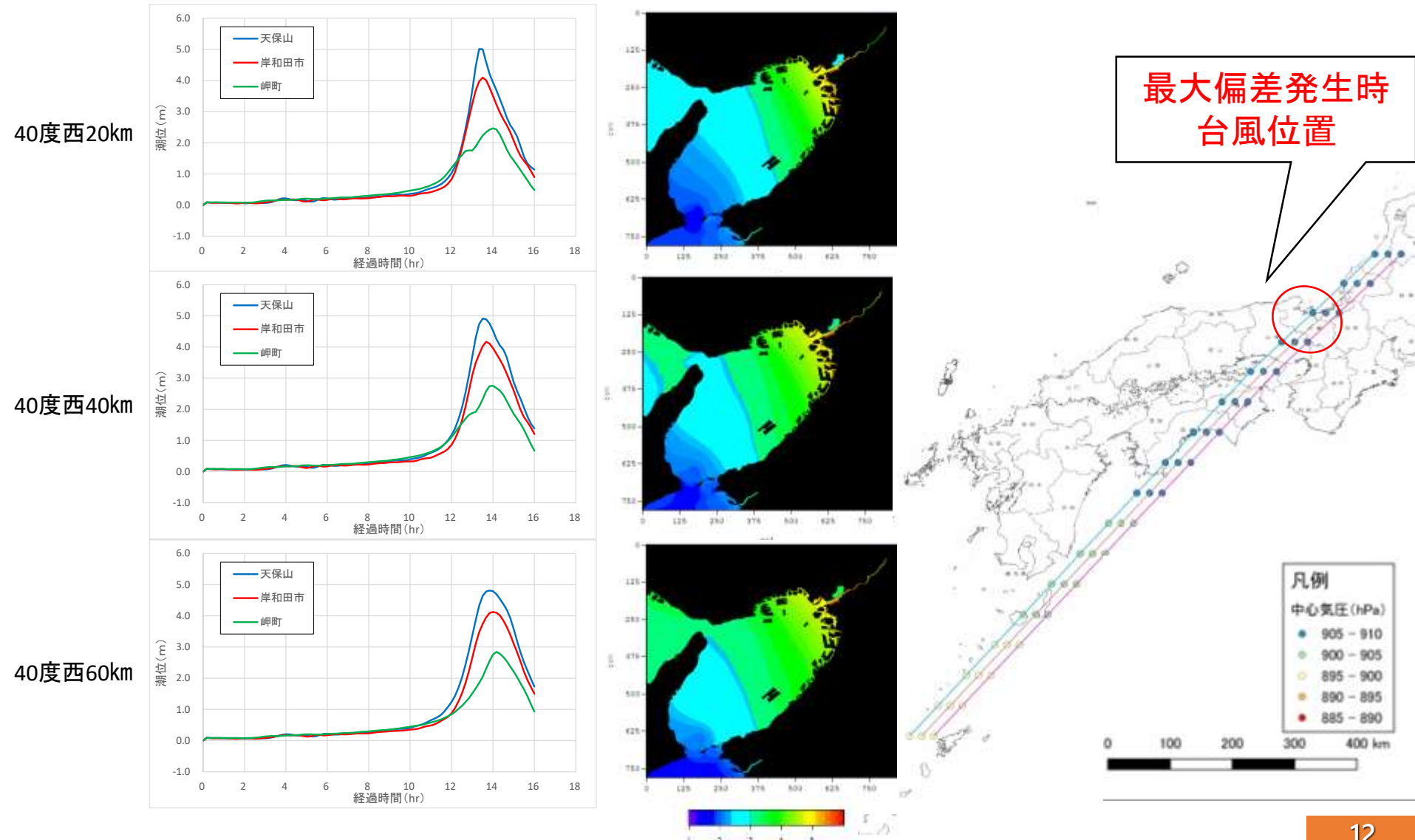
【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(30度経路)

- 30度経路で潮位偏差が最大となった西20kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 南側で先に潮位の上昇が始まる
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



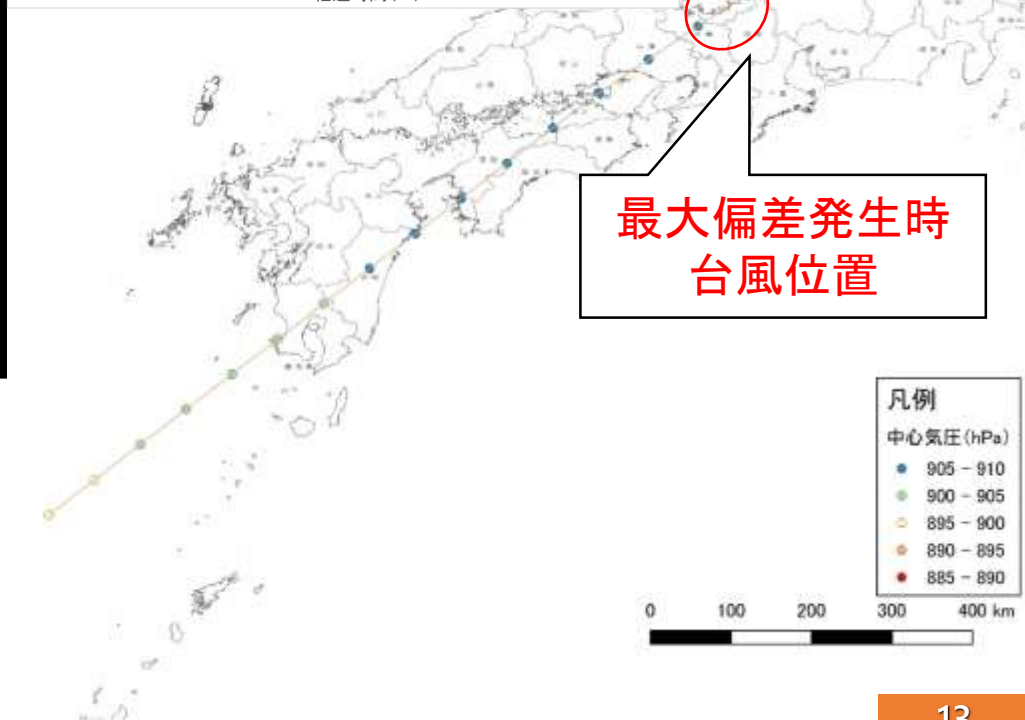
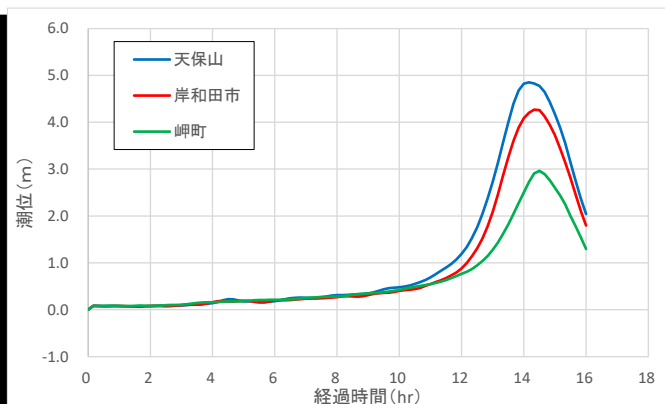
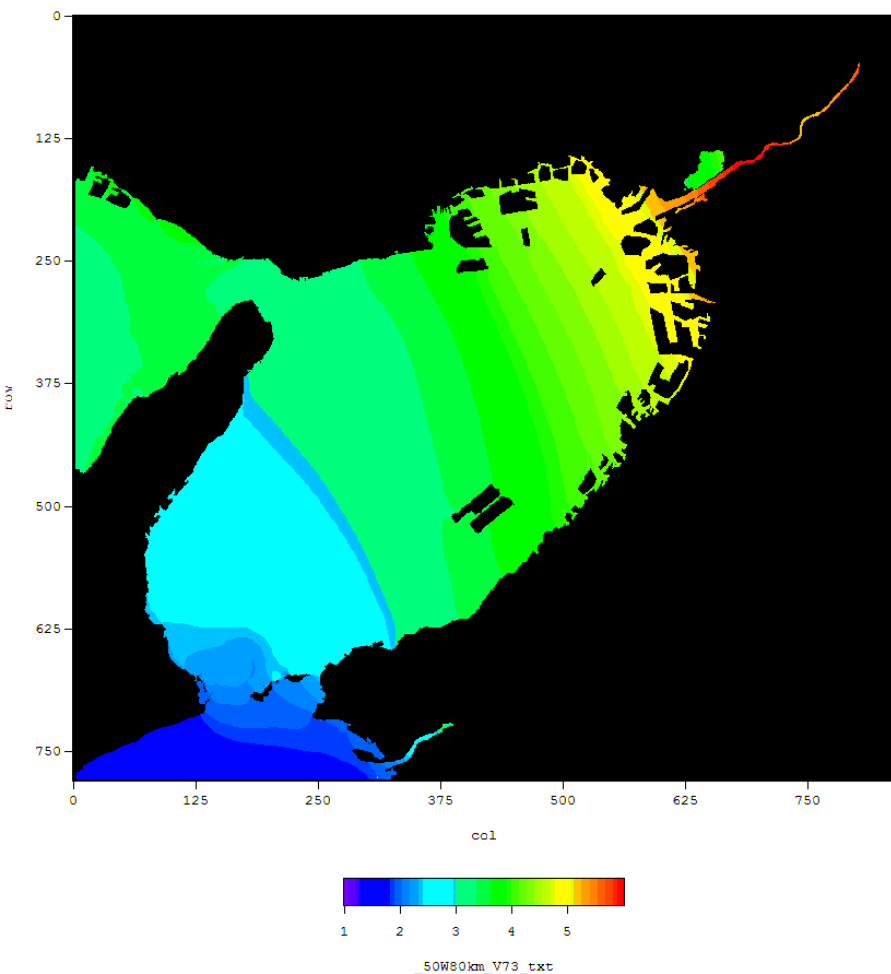
【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(40度経路)

- 40度経路で潮位偏差が最大となった西20km、西40km、西60kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(50度経路)

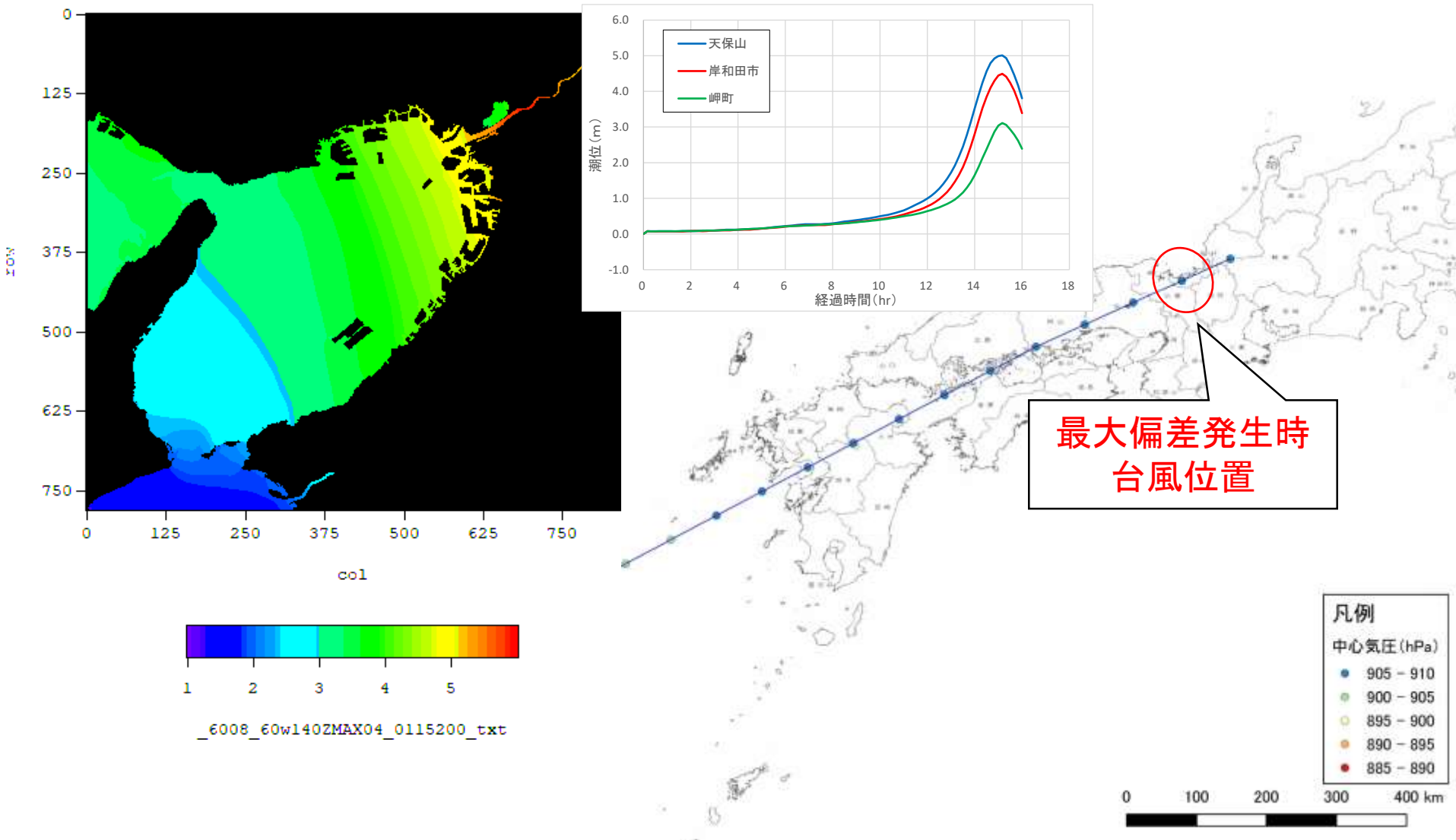
- 50度経路で潮位偏差が最大となった西80kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(60度経路)

- 60度経路で潮位偏差が最大となった西140kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。

➤ 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる



【参考②】台風経路による高潮偏差の整理(70度経路)

- 70度経路で潮位偏差が最大となった西140kmにおける時間毎の台風位置と、潮位の時間変動を比較した。
 - 大阪近傍を通過後して1時間後頃に最大偏差となる

